

りゆき管理」や「習慣的処理」を検討し、系列を整えるとか、統合するとかして、標準化することになろう。

9 運営組織

運営組織は、直接的な教育活動を支え、じゅう

ぶん発揮、実現させるために営まれる活動に関係する、諸要因の機能的構造とみることができよう、その具体的内容として、職員会議や各種研究協議会があげられるが、ここでは、研修機構と会議と言ったとらえ方で調べることにする。

(1) 教師の専門性を高めるためにどのような配慮をしているか。

(上段人員、下段%)

事 項	小 校			中 校			高 校		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C
ア 個人研究の重視	40	36	33	16	16	14	23	20	18
	13.4	12.7	11.9	10.2	11.0	9.0	21.5	22.5	17.3
イ 共同研究の重視	83	77	65	42	40	37	10	8	10
	27.8	27.2	23.5	26.8	27.4	23.9	9.3	9.0	9.6
ウ 日日の実践重視	38	30	34	23	14	28	21	17	22
	12.7	10.6	12.3	14.6	9.6	18.1	19.6	19.1	21.2
エ 研究図書の実践	9	8	6	9	7	5	7	9	7
	3.0	2.8	2.2	5.7	4.8	3.2	6.5	10.1	6.7
オ 授業研究の重視	84	85	82	36	36	43	19	10	16
	28.1	30.0	29.6	22.9	24.7	27.7	17.8	11.2	15.4
カ 校外研究の参加	16	20	29	14	16	13	23	21	25
	5.4	7.1	10.5	8.9	11.0	8.4	21.5	23.6	24.0
キ 研究日の設定	29	26	28	17	17	15	4	4	5
	9.7	9.2	10.1	10.8	11.6	9.7	3.7	4.5	4.8
ク その他		1							1
		0.4							1.0

専門性を高める配慮について、比率の高いものをあげると次のようである。

小学校

授業研究の重視、共同研究の重視 — 個人研究の重視、日日の実践重視

中学校

共同研究の重視 — 授業研究の重視 — 日日の実践重視

高等学校

校外研究の参加、個人研究の重視 — 日日の実践重視

以上のことから小・中学校においては、共同研究と授業研究の配慮が強く、高等学校においては、校外研究、個人研究の配慮が強いとみることがで

きよう。

教師の職務は、児童・生徒が現代に生き、次代を創造していけるよう、精神的・身体的発達を意図的・具体的に援助指導する行為である。したがってその行為は、公共性が高く、専門性が確立されていなければならない。

専門職としては、社会構成に絶対不可欠な職種であることはもちろん、独自の価値と権威を有し、たぶんに精神的な豊かさがなければならない。このことは、裏を返せば社会に対して、専門的な説得力と信頼性がなければならないことになろう。そのためには、現職中絶えず自己研さんが必要になるだろう。